

## 新入生歓迎特集号

### CONTENTS

新入生諸君！入学おめでとう	2
「進化」への眼差しー「家政学」から「経済学」へー	3
「おめでとう」と「ありがとう」	4
深い理解力、確かな判断力、豊かな創造力を	5
新入生の皆さんへ	6
新入生の父母の方々に	7
早く知ろう！大学サービス機関	8
平成15年度学生相談室レポート	9~10
学生自治の動向	11
黎明 探らなかつた道と後ろにできる道	12
黎明 桜の花のように	13
新入生の皆さんへ	14
くらぶ通信ースポットライトー	15
学内ニュース	16
編集後記	16

## 新入生諸君！ 入学おめでとう

学長 我妻 建治

成城大学の学生となった、今の諸君の感慨はどのようなものでしょうか。これからの生活をどう過ごそうか、期待と不安の交錯する人。入学した本学が第二、第三の志望校であったため、あれこれ心に去来するものを持っている人。課外活動を通して積極的に生活をエンジョイしようと決めている人。何よりも学問の道に進進しようと志を立てている人。その他、様ざまであろう。私が、今、諸君に望みたいことは、これから始まる本学での生活が、諸君たちにとって生涯のうちで真にかけがえのないものにならねば、一日も早く本学学生としての生活になじむように心がけて貰いたいということである。すなわち、諸君が本学を卒業するときには、本学学生であったことを誇りとし、本学で得たものに大きな自信をもって、それぞれの道に進んで貰いたいと思うからである。

次に、これから始まる諸君の大学生活は、これまで過ぎて来た生活とは著しく異なるものであることを認識して欲しいと思う。そもそも大学とは何よりも学問をする場であり、したがって学問をすることを志す人たちによってのみ構成されている社会であり、学問なしには、その存在がなりたないところである。したがって諸君のこれから始まる大学生活はこれまで過ぎて来た生活とはその本質から言って著しく異なるのはそういう理由からである。諸君は、間もなく講義や演習、さらにゼミナール等においてその主宰する教授諸公と接することになるが、諸君のなかには、展開される講義等に少なからず失望する人が現れるであろう。大学に入って、講義等を聴講したがあまり面白くない、とか、期待はずれである、とかいう声を、例年学生諸君から少なからず聞かすが、このことに関連して、この際、一言述べておきたいと思う。それは、大学の講義や勉強は、これまでのそれとは全く異なるものであるということである。とくにこれまでの学習には、具体的にその到達目標や枠組みがあるが、その意味では大学にはそれがなく、むしろ、ないのが当然であることを認識して欲しいと思う。端的に言えば、諸君のこれまで慣れている学



習とは、まず問いがあり、そして解き方を教わり、用意された答えを覚えるといった体のものである。しかし、大学での勉強とは、まずそれまでであった問題を知って、それまでなかった新しい問題そのものを探さず探さず、これまでの解き方を知って、それとは異なる解き方を発見することであり、要するに、問いも、解き方も、そして答えもみずから新しく考え出すことが大学の勉強であるからである。問いと解き方と答えとがセットになっているものを学ぶのではなく、問いも、解き方も、答えも新たに提起し、論証、解明していくところに大学

の勉強の基本がある。最近、クイズが非常に流行っている。知識を多くもつことは楽しいし、そのゲーム遊びはなおさらである。しかし知識を競うだけなら百科事典に聞けばよい。ここには問いも答えも用意されていて、その用意されていることをいかに多く、覚えているか、いかに速く反応しハキ出すかのゲームがクイズである。入学試験の勉強もこれと本質的には同様のものだ、と私は考える。大学入試によく出る問いと解き方と答えを覚えて、これを答案としてハキ出すケイコが学習である。ここでは問いと答えがすでに用意され、完結されている。この完結された知識を修得するのが、ここでは勉強だと言うことになるからである。大学における勉強、すなわち学問とは、それらとは全く質を異にする。再度繰返せば、これまでの学説、研究史をひもといて、これまでである問い、解き方、答えを吟味して、今までなかった問いを見出し、解き方を考え、新しい答えを見つかるべく研究し、新しい学説を形成する、真に創造することを心がけること、いわば知的チャレンジが大学の勉強である。諸君は、大学の講義等が面白くないとは言いが、それは、諸君の学問に対する認識が足りないところからおこる面が多いと思料する。諸君は大学とは何か、真の勉強とは何か、を認識し、大学人としての姿勢を早く身につけて欲しいと切に思うのである。

成城大学での諸君の生活が、生き生きとして豊かで、充実したものにせられんことを心から期待する。

## 「進化」への眼差し 「家政学」から「経済学」へ

経済学部長 木村 周市朗

今年も全国各地から大勢の新生を迎え、学園は若々しい活気に満ちあふれている。つい先頃、それぞれたくましく成長した4年生諸君を社会へ送り出したばかりであるから、新しいこの4月の青春の息吹はいつそう眩しく感じられる。青春は、希望と不安の季節である。われわれ経済学部教職員一同は、新生諸君の入学を心から歓迎し、これからの4年間、この学園でのさまざまな出会いをつうじて、みなさんが思い思いに自分の個性を發揮して「生涯の地力」とでも呼ぶべきものを蓄えられるよう、しっかり側面支援したいと願っている。4年後を思うとき、われわれ教職員の責務は重大であるといわねばならない。

人の世は常ならず。人は、その生涯とおして刻々と成長・変化し、また、その成長・変化につれてものの見方も変わるであろう。

それと同じように、現実の経済社会も、そして、それを見る眼としての「経済学」も、日々成長し、進化をとげている。この進化の過程は、昔から試行錯誤の内に積み重ねられてきた真剣な人類史的営為なのであって、いま現に眼の前にあるものを絶対不変と思うのは、人間の傲慢というものである。

「現在の繁栄は永遠に続くのだという楽観論に、人は身をゆだねなくなるものです。」アメリカ経済学界の最長老ガルブレイスが、日本の「バブル」崩壊後の不況局面やアジア通貨危機をながめながら、このように慨嘆したのは、1920年代の空前のブームと世界恐慌への暗転という若き日の体験に根差した深い洞察があったからである。

もっと長期的視野で振り返ると、こんにちわれわれが当たり前のこととみなしている「市場経済」も、それが1つの支配的システムとして確立したのは、そう古い話ではない。フランソワ・ケネーとその弟子たちが「フィジオクラシー」(自然的統治)と呼ばれる理論・政策体系を構築し、みづからを「エコノミスト」と称したのは、フランス絶対王政末期の18世紀後半のことである。ほぼ同じ頃、イギリスではアダム・スミスが『国富論』を書いたから、西ヨーロッパではこの

時期に「市場経済」が、外からの考察を可能にするほどに国民的な規模で自律的な展開をとげていたと考えられる。

けれども、他方では、たとえば17世紀末にオーストリアのある田舎貴族が、「家父の書」の代表例として知られる領主経営のノウハウの集成(全12巻)を著したように、アリストテレス以来旧ヨーロッパ世界で連綿と継承されてきた「家の上手な切り盛り」を意味する「家政学」の伝統が、18世紀まで生き続けていたのである。

この「家政学」から「経済学」への進化・発展の裏には、当然のことながら、人間観・世界観の大きな転換があった。スミスは、数量化可能な範囲に視野を限定することによって、「市場経済」分析を旨とする近代的「経済学」の王道を拓いた。そしてジェレミー・ベントムは、社会を「個人」の単純総計ととらえ、「最大多数の最大幸福」を道徳と立法の根本原理に据えて、「経済学」に功利主義的人間観という魂を注入した。

しかし、こうした近代化過程の中で打ち棄てられたものは何か。

経済人類学の開拓者の一人カール・ポラニーは、「市場経済以前」の伝統的社会を、「経済」が社会に埋め込まれた状態(「経済」の無名性)ととらえ、その特徴を「互酬制」(家長相互の助け合い)に見いだした。アリストテレスが、「フィリア」(善意)の絆で結ばれた共同体成員の互酬行動(アンティベポントス)と呼んで、共同体の自足性を維持するための根幹とみなしたものが、これである。そこでは、人は「自足」を知っており、価値序列においては「名誉と威信」が「富」にまさっていたのである。

温故知新。ここから先は、新生諸君の想像力にゆだねよう。これから4年間、あせらずに、教授諸氏のそれぞれに個性的な授業をゆっくりたのしんでもらいたいと念願する。

経済学部教授「社会保障論」担当



## 「おめでとう」と「ありがとう」

文芸学部長 戸部 順一

大学への入学が決まったときから、皆さんが頻繁に耳にした言葉は「おめでとう」ではなかったかと思います。入学を慶事と捉え、御当人に祝いの言葉を掛ける、これは洋の東西を問わず見受けられる光景でしょう。英語でだって“Congratulation on your passing the examination!”と云うのですから。ところでcongratulateはラテン語のcongratulorを借用した語で、これを古典ギリシャ語にすればsygkhairoとなります(こんなことも大学生になればすぐに学べます)。これらの単語に見られるcon- やsyg- (= syn- )は「一緒に」を意味する音です。ですから英語の、そしてそのもとになっている、ラテン語、ギリシャ語の「おめでとう」には、相手の喜びを自分のこととし、それを共有したいという優しさがあります(実際、これらの語には喜びを与えてくれる優美の女神カリス=ラテン名グラティアが見えます)。日本語に「一緒に」を指示する音は見当たりませんが、「おめでとう」と言ってくれた人たちに、この気持ちがなかったはずはありません。その優しさを、どうか忘れないように...(でも、いつまでもその優しさに酔っていて、「おめでたい」と言われるようになりますと、あまりいいことではありません)。

自分のことで恐縮ですが、我がことを振り返ってみますと、「おめでとう」が人生の節目になるようなときに掛けられた言葉だったのを思い出します。幼稚園から始まる入学式と卒業式、成人式に結婚式、子供が生まれたとき、それに就職が決まったとき、まあ、これくらいで、最近はありません。いつからかは定かではないのですが、この祝福の言葉を聞いて、私は半ば条件反射的に「ありがとう」と答えるようになりました。皆さんの返辞はどうでしたでしょうか。素直な気持ちで「ありがとう」と答えた人もいれば、どこか恥ずかし気に(その恥ずかしい気持ちの原因は様ではないでしょうが)「いやー」と答えた人、中には嬉しくないわけではないのに、その感情を隠し、寧ろ怒ってでもいるかのように仏頂面を見せた人もいます。とこ



ろで今思い返してみますと、「ありがとう」と答えたとき、私は何か「これから」に関する覚悟を決めたような気がします。節目というのは、それまでのことに区切りをつけ、次のことに向かおうとする瞬間です。「おめでとう」は「それまで」の努力なり苦勞なり無事なりを我がことのように喜び、それを祝おうとする気持ちから発せられます。それを聞いて「ありがとう」と言ったとき、人は「それまで」と決別し、「これから」の安寧を祈り、そのための努力を決意して、未来に踏み出すのではないのでしょうか。「おめでとう」と声を掛けた人たちも、こんなことは承知していて、皆さんのこれからの努力に多くを期待しているに違いありません。「これまで」のねぎらいに重ねられた将来への励ましを聞き逃さないでください。

私たち教師は「おめでとう」を毎年三月にも言います。大学生活を終え、さらに広い世界へと歩む学生たちに「おめでとう」と声を掛けるのです。もちろん、その言葉にこれからの活躍への期待を重ねているのは言うまでもありません。その際に、私たちが心から「おめでとう」と言え、また彼らが心から「ありがとう」と答えてくれるか、それを気につけない教師はいないでしょう。三月の「おめでとう」-「ありがとう」は、大学で過ごした四年間を確認する挨拶でもあるのですから。教師は主に授業を通じて有意義な四年間を皆さんに提供するつもりでいます。この努力を怠るようでは教師とは呼べないし、私たちの仲間にそのような不届者はおりません。一方、私たちの努力を価値あるものと認め、またそれによく応え、大学生の本分を尽くせたと感じたとき、卒業する学生たちも「ありがとう」と心から言えることになるでしょう。入学時の「おめでとう」-「ありがとう」が、これからの四年間の教師と学生との努力の宣誓なら、卒業の時のそれは、お互いがお互いの努力を認めた証の言葉です。四年後に心からこの挨拶を交わせることを願いつつ、おめでとう。

文芸学部教授「西洋古典学」担当

## 深い理解力、確かな判断力、豊かな創造力を

法学部長 大沼邦弘

今日は2月末日ですが、数日前から庭の白木蓮が咲きだしましたし、鶯もまだ上手ではありませんが鳴きはじめました。今年は春の訪れが早いようです。

やがて、4月初め、新入生の諸君を迎える成城の街も、キャンパスも桜が咲き誇り、春爛漫となっているはずで

す。そのとき、諸君は、新たな生活への大いなる期待に胸ふくらませていることでしょうか。でも、一抹の不安も抱いているのではないのでしょうか。何かを学べるという期待と、何をどのように学んだらよいかという不安もあると思います。経済学部では経済や経営を、文芸学部では文学や芸術を、法学部では法律を、教師から教わればよいとお考えの方も多いかもしれません。でも、それでよいでしょうか。改めて、学ぶということ、大学で学ぶということの意味合いを問い直しておく必要があるように思います。学ぶということが、単に知識を集め蓄えるということであれば、それは大学でなくても十分に可能です。自分ひとりでも、書物や新聞を読み、ラジオやテレビを視聴すれば足りるからです。

人間は社会的動物だと言われます。家庭、近隣、学校、職場で、他の人々と共に生活し、仕事をして生きていかなければなりません。そのような社会、特に諸君が大学を卒業してはいつていく実社会のなかでは、様々な問題に直面することになりますが、問題を処理するには、過去に得た知識では役に立たず、新たな知識を改めて学ばなければならないことが多いはずです。ですから、大学では、どのようにして知識を得たらよいか、すなわち、いかに学ぶかを学んでおいてほしいのです。「魚一尾は一日の糧、魚の釣り方は生涯の糧となる。」という諺もあります。大学は、生涯の糧となる魚の釣り方を学ぶところだと考えてほしいと思います。では、どのようにして、いかに学ぶかを学んだらよいのでしょうか。

まずは、深い理解力を身につけるように努めることです。問題を処理する能力を養うには、先人が、同じような問題について、どのようにして解き、どんな答えを出

したか、なぜ、そのような解き方をし、そのような答えを出したのかを学習することも必要となりますが、そのためには深い理解力を用意しておかなければならないからです。

そして、確かな判断力を身につけておくよう努めることです。問題の解き方、答えは常にひとつとは限りませんから、その時その場で最も適切な解答を選択しなければなりません。確かな判断力が求められることとなります。

さらに、豊かな創造力を身につけておくよう努めることです。問題に対する解答がどこかに用意されていて、それを見つけて出せばよいということは少なく、新たな解答を考え出さなければならぬことが多いからです。社会のなかで生きていくには、多くの人に納得してもらえような解答を創り出すことが必要となるからです。

それでは、大学では、実際に、どのようにして、深い理解力、確かな判断力、豊かな創造力を養ったらよいのでしょうか。大学には図書館があり、教師があり、学友がいます。多くの書物をじっくり読み、教師の講義も鵜呑みにせず時には批判的に聴き、盛んに議論し、徹底的に考察することを通して身につけていけばよいと思います。

諸君の新たな生活が充実したものでありますよう祈ります。

法学部教授「刑法」担当



## 新入生の皆さんへ

短期大学部部长 石鍋 真澄

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を歓迎して、一言書かせていただきます。

私はイタリア美術史を勉強していますが、大学4年生の時に、卒論を書く前にどうしても本物の作品が見たくて、重いリュックを背に3ヶ月ヨーロッパを旅行しました。今から30年以上前の話です。その後も、都合5年以上にわたる留学の期間を含めて、何十回も旅行し、自分でもあきれくらい都市や聖堂、そして美術を見て歩きました。そういう旅と美術鑑賞の経験が、自分の美術史研究の基礎であり、人間形成にも大きな意味を持ったのだと、痛感するこのごろです。

今年の正月も、トスカナ地方のルッカという古都で、一人元日を迎えました。家族には申し訳ないと思いましたが、大学の仕事があって夏休みにも出られなかったので、あえて年末年始に出かけて、展覧会を見たり、新発見の壁画を見学したり、調べものをしたりしました。そして何よりも、自由と孤独を友に旅をしました。イタリアの都市と美術、そして旅というものに、30年以上前の大学時代と変わらない情熱を持ち続けていることに、正直のところ、自分でも驚きを覚え、小さな感動を味わいました。そして、誰にということの定かでない、漠然とした感謝の念を覚えました。

昔の話をするとうる覚えのかもしれませんが、大きなリュックを背負って、ヨーロッパを放浪旅行したときのことを、ときどき思い出します。3ヶ月有効のユーレイルパス（ヨーロッパ鉄道パス）をもって旅行するのですが、全部で確か5回ほど各地を回ったことがあります。放浪の旅は都合1年以上にも及んだわけです。そうした旅で見た無数の中世やバロックの聖堂、あるいは美術館の数知れない美術作品のことを、一つ一つ記憶しているわけではありません。しかし、その膨大な体験、そのひたむき情熱は今の私の基礎をなしていると思うのです。本当にたくさんの町を歩き、聖堂を訪れ、美術作品を見ましたから。

新たに大学生として第一歩を踏み出そうとする皆さん

に、経験が人を育てる、ということを上げたいと思います。子供を育てたことのある人なら、誰でもが、自分の子供がちょっとした経験を通じて、思いもよらないほど成長するのを見たことがあるはずで、経験が人を成長させる、ときに親も本人でさえ想像もできなかったほどに、そう言うことができるでしょう。

だから大学を、皆さんが新しい経験の旅に船出する港のように考えて欲しいのです。もちろん、私は文字通りの旅のことを言っているわけではありません。ボランティア活動でも、部活の対抗試合でも、ときにはアルバイトやいろいろな施設の見学、あるいは展覧会や演劇の鑑賞、さらには大学のゼミや授業でさえ、皆さんにとって新しい経験、皆さんの将来に大きな可能性を開く経験になるかもしれません。大学の中でも新しい経験の種はたくさんあると思います。それでもやはり、外に出て行くこともたいせつです。最も多感で、最も繊細な感性をもった二十歳くらいの時に、さまざまな経験を、言ってみれば、その母港としての役割を、成城大学が果たせれば、と願っています。

「望むだけでは足りない。渴望しなければならぬ」と、イタリア・ルネサンスの人文主義者ペトラルカは言っています。夢をもつ、夢を実現するようにがんばる、と皆言いますが、それは、ただこんなことができたらいいなあ、というだけではダメだ。どうしてもしたい、なんとしても実現する、という「渴望」、強い願望を抱かなければならぬ。渴望という言葉通り、のどが渇いている人が水を求めるように、何かを求めるのでなければ実現などしない。ペトラルカはそう言っているのです。

私は皆さんに、新しい経験をもとめてください、と言いましたが、ここでいう経験は、どこからか降って湧いてくる、偶然的賜物といったものである場合は少ないのです。皆さんの中に、何かを求める強い欲求があって初めて、経験が本当の経験になるのです。このことも、心にとめておいて欲しいと思います。

短期大学部教授「西洋美術史」担当

## 新入生の父母の方々に 新入生が大学生活をよりよく送るために

学 生 部

ご子女のご入学、心よりお祝い申し上げます。新入生は入学式を迎えた今日この日から、本学学生として新しい学生生活の第一歩を始められました。

さて、本学には、学園高校・アルザス校から進学してきた学生、指定された高等学校からの推薦やAO入試で入ってきた学生、それに一般入試やセンター試験方式入試で合格した学生があり、その中にも当初から第一志望として目指してきた学生もいれば、国立その他の大学を志望していたが、不本意ながら本学に入学してきた学生、現役合格の学生もいれば浪人経験者も多数いるなど、様々な学生が入学してきております。

また、大学では高校の授業のように決められた科目を同じクラスで受講するのではなく、自分が授業科目を選択して、計画的に履修していくことになります。自らの意志で勉学・研究に取り組むことができるという特徴をもっている反面、自由に流され、目的を見失ってしまうことも少なくありません。このように新しい環境に適応できず、様々な悩みを持つ学生も増えてきております。

本学では、このような学生の抱える問題の解決には各学部教授会、クラス（ゼミ）担任、学生委員、学生部（学生相談室）、教務部、大学保健室などが相互に連絡を取りながら常に指導・助言するようにしております。しかし、何より家庭における父母の強く暖かい支援・助言が必要なことは言うまでもありません。

こうした見地から新入生の父母の皆様には、大学生活のことでぜひ知っておいていただきたいことを書き述べておきます。

### まず出席すること

大学では講義に $\frac{2}{3}$ 以上出席しないと、試験を受けても出席不足のために点数のつかない場合があります。また、講義時間に遅れてくる学生がおります。ことに1時間目は9時より始まりますので、朝早く起きる習慣をつけなくてはなりません。

### 学生諸君への伝達について

本学では、学生諸君への全ての伝達を掲示によって

行っております。いったん掲示した事項は周知されたものとして取り扱いますので、毎日の登・下校時に必ず掲示板を見る習慣をつける必要があります。

### 電話呼び出し等について

電話で学生の呼び出し等を依頼されることがありますが、大学では緊急かつ必要と判断される場合以外は一切応じておりません。また、同様に住所・電話番号等の問い合わせについても、学生のプライバシーを守る意味で応じないことになっています。

### 下宿について

地方からの学生は慣れない一人暮らしとなりますので、生活環境の変化や解放感などから、様々な問題が生じやすくなります。十分な睡眠や食事のバランスなどを配慮した規則正しい生活を送るためには、かなりの自制心が必要とされます。行動範囲が拡大され、自由奔放な行動をとるようになり、その結果、体調を崩したり、授業を欠席がちになる学生もしばしば見られます。日頃から家庭と連絡を取り合い、生活状況をよく把握していただくことが望ましいと思われまます。

### アルバイトについて

アルバイトをする学生も多く見られます。学業に影響のない範囲でのアルバイトは、自立性や社会性を養うために意義あるものと思われまますが、ともするとアルバイトが本業になってしまい、大学で学ぶことが二の次になることにもなりかねません。また、様々なアルバイト斡旋誌が出ておりますので、その業種選択などもかなり慎重にしなければならぬと思います。

### 困ったときは...

大学はいつでも、どんなことでもご相談に応ずるよう心がけております。新学期にあたり、大学の諸機関や施設等についてわからないとき、また何かにつけて困ったとき、いつでも遠慮なく学生部もしくは学生相談室を訪ねるよう、ご父母からご子女にお話しくださるようお願いいたします。



## 早く知ろう！大学サービス機関

学生部・就職部・教務部・入試広報部



新入生諸君が卒業するまでの間に、頻繁に接するのが、大学サービス機関である「学生部」「就職部」「教務部」および「入試広報部」です。

### 学生部

学生生活全般、課外活動、健康管理などのサービスを行う機関。

学生部は、学生課・学生相談室および大学保健室からなり3号館1階にあります。

学生部長 上野 英二 教授〔中古国文学〕

学生部次長 中村 睦久

学生課長 高田 雅彦

学生課

- ・学友会その他学生の自治活動の助言・指導および育成に関する事。
- ・学生の集会、出版物掲示、行事に関する事。
- ・部室・課外活動教室の管理に関する事。
- ・学生証、通学証明書、学割証等の発行に関する事。
- ・休学・復学・退学等に関する事。
- ・住所変更および身上異動に関する事。
- ・欠席に関する事 忌引、病気・けが等による7日以上欠席。
- ・学生教育研究災害傷害保険に関する事。
- ・奨学金に関する事。
- ・下宿・アルバイトの斡旋に関する事。
- ・遺失物・拾得物、盗難被害に関する事。
- ・授業料等校納金の延納願に関する事。
- ・自転車通学および自動車通学特別許可証に関する事。

・成城大学トレーニングセンターに関する事。

学生相談室

- ・相談活動（個人的な問題、学生生活、性格検査等）
- ・学生登録票に関する事。
- ・アンケート調査等に関する事。

大学保健室

- ・健康管理に関する事（定期健康診断）
- ・健康相談。
- ・応急医療処置。

### 就職部

就職指導・斡旋等に関するサービス機関。

就職部は3号館1階にあり、事務室と資料室とがあります。

就職部長 手塚 公登 教授〔企業論担当〕

就職部次長 古川 米男

就職課長 水野 健

就職課

- ・就職指導・斡旋等に関する事。  
（就職相談・各種ガイダンスの実施）
- ・求人に関する事。  
（求人受付・開拓）
- ・学内選考に関する事。
- ・就職活動に必要な各種証明書の受付に関する事。
- ・就職資料室に関する事。  
（資料の収集・管理）
- ・卒業年次生の進路登録に関する事。

### 教務部

学生の教学に関するサービス機関。

教務部は1号館1階にあり、教務課と学務課からなっています。

教務部長 白井 英之 教授〔社会政策担当〕

教務部次長 比佐 幸男

教務課長 大川 龍太郎

学務課長 貞本 修治

教務課

- ・授業に関する事。
- ・履修の手引・シラバス・授業時間割表の作成。
- ・履修相談および指導、履修登録の受付。
- ・各学部等の連絡事項や休講等の掲示。
- ・ゼミナール（演習）届・専攻コース届の受付。
- ・卒業論文に関する事。
- ・学長賞懸賞論文に関する事。
- ・聴講生等の取り扱い業務。
- ・公開講座に関する事。

学務課

- ・学内試験係 - 学内試験およびレポートに関する事。
- ・成績管理係 - 学業成績に関する事。
- ・教職・学芸員係 - 教職・学芸員課程に関する事。
- ・証明書係 - 証明書等の発行に関する事。

### 入試広報部

入試広報部は1号館1階にあり、入学試験および入試広報に関する業務を行っています。

入試広報部長 三室 次雄 教授

〔独語・ドイツ文化担当〕

入試広報部次長 島野 正美

入試広報課長 大槻 多枝子

入試広報課

- ・入学試験に関する事 学部、大学院、専攻科、編入学、学士入学、推薦入学、AO入試など。
- ・学生募集に関する事 大学案内、入試要項の作成・頒布等。
- ・入試広報活動に関する事 オープンキャンパス、各種進学相談会等の企画・実施。

以上、各部署の業務について簡単に紹介しました。各職員は、学生諸君が自主的に勉学にいそしみ、さらに快適な学生生活を送ることができるように、誠意を持って皆さんと接していきたいと思っております。



平成15年度

# 学生相談室レポート

学生相談室カウンセラー 関 真利子

新入生の皆さん、ご入学おめでとございます。皆さん一人ひとりがこの成城大学で「充実した学生生活」を送られることを心から願っております。

ところで「充実した学生生活」とは、いったいどのようなことを言うのでしょうか。

「いま現在、充実した学生生活を送っています」と言う在校生に聞いてみたなら、おそらく、こたえてくれる学生の数だけバラエティーに富んだ「充実生活」が報告されると思います。楽しそうだなー、いいなーと思える「充実生活」のモデルは、あなたの周りにもたくさんあることでしょう。でも、それをそっくりそのまま転用してきても、おそらくあなたの「充実生活」にはなりません。なぜなら、充実感というのは誰かによって与えられたり、どこかにすでに用意されているものの中に入るだけで得られたりするものではないからです。何に対して、どのように満ち足りた感じを持つのかは人によって違います。あなただけのオリジナルなのです。

さまざまな「充実生活」の共通項を、あえて挙げるなら「生き生きした体験の積み重ねとともに、自分なりの手応えが感じられている」ということです。そんなオリジナルな学生生活をぜひ皆さんにも送っていただきたいと思います。

さて、以下に昨年度の学生相談室の利用状況についてまとめます。

学生相談室をはじめて利用した学生から「どのくらいの学生が相談室を利用していますか」「どんな相談に来るのですか」「カウンセリングって何をするのですか」といった質問をしばしば受けます。

相談室を利用してみたいけれど、まだ利用したこと

表1. 平成15年度 月別個人面談者数

平成16年2月末日現在

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
男	23	23	20	18	11	9	22	21	24	12	14
女	61	58	51	38	5	15	38	37	23	27	26
計	84	81	71	56	16	24	60	58	47	39	40

数字は延べ人数

がないという人の中にも、こういったことが気になっている人がいるかもしれませんね。成城大学の学生相談室は「何でも相談室」です。成城の学生であれば誰でもが利用できる場所です。

どのくらいの人が相談室を利用しているかということ、平成15年度の場合ですと、2月末日までの相談室利用者総数はのべ1,095人(月平均99.5人)でした。このうち個人面談の回数はのべ576回でした。

どんな相談に来るかということについては、たとえば「部活やサークル活動に関すること」「友人関係・異性関係に関すること」「単位修得に関すること」「転・編入や再受験に関すること」「家族に関すること」「自分の性格に関すること」「将来や就職に関すること」「ストレスや疲労に関すること」「不眠や情緒不安に関すること」など挙げることができそうです。

カウンセリングでは何をやるのかということを中心にまとめると、それぞれが抱えている相談事(問題)について相談者が、カウンセラー(話を聴く専門家)を相手にじっくり話し、それを手がかりにしながらその人自身が問題解決を図っていくということだと言えます。一人ひとりのオリジナルな「学生生活」を実現するために、必要に応じてサポートするのが学生相談室です。「学生相談室だより Topics」を年2回、発行しています。ぜひ読んでみてください。

表2. 学年別面談者数および相談内容

平成16年2月末日現在

相談内容	1年		2年		3年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
進路修学	1	6	10	1	1	9	3	3
心理性格	3	10	16	66	3	30	21	44
対人関係	3	1		51	3	14		3
心身健康	7	12	23	10	1	30	10	
学生生活	3	1	2	23	4	5	38	
その他				1				

数字は心理テスト面接を除いた(学生の)延べ人数

## ～エゴ・グラムで知る あなたの日常生活スタイルは?～

次の質問に、はい( ) どちらでもない( ) いいえ(×) で答えて下さい。ただし、できるだけはい( ) いいえ(×) で答えるようにしてください。

<CP> 質問項目		○	×
点	1 あなたは、何ごともしがちとしない気がすまないほうですか。		
	2 人が間違ったことをした時、なかなか許しませんか。		
	3 自分を責任感のつよい人間だと思いますか。		
	4 自分の考えをゆずらないで、最後までおし通しますか。		
	5 あなたは礼儀、作法についてやかましいしつけをうけましたか。		
	6 何ごともし、やりだしたら最後までやらない気がすみませんか。		
	7 親から何か言われたら、その通りにしますか。		
	8 「ダメじゃないか」「...しなくてはいけない」という言い方をしますか。		
	9 あなたは時間やお金にルーズなことが嫌いですか。		
	10 あなたが親になった時、子供をきびしく育てると思いますか。		

<NP> 質問項目		○	×
点	1 人から道を聞かれたら、親切に教えてあげますか。		
	2 友だちや年下の子供をほめることがよくありますか。		
	3 他人の世話をするのがすきですか。		
	4 人の悪いところよりも、よいところを見るようになりますか。		
	5 がっかりしている人がいたら、なくさめたり、元気づけてやりませんか。		
	6 友だちに何か買ってやるのがすきですか。		
	7 助けを求められると、私にまかせなさい、と引きうけますか。		
	8 だれかが失敗した時、責めないで許してあげますか。		
	9 弟や妹、または年下の子をかわいがるほうですか。		
	10 食べ物や着るものがない人がいたら、助けてあげますか。		

<A> 質問項目		○	×
1	あなたはいろいろな本をよく読むほうですか。		
2	何かうまくいなくても、あまりカッとなりませんか。		
3	何か決める時、いろいろな人の意見をきいて参考にしますか。		
4	はじめてのことをする場合、よく調べてからしますか。		
5	何かする場合、自分にとって損が得かをよく考えますか。		
6	何かわからないことがあると、人に聞いたり、相談したりしますか。		
7	体の調子の悪い時、自重して無理しないようにしますか。		
8	お父さんやお母さんと、冷静に、よく話し合いますか。		
9	勉強や仕事をテキパキと片づけていくほうですか。		
10	迷信やうらななどは、絶対に信じないほうですか。		

<AC> 質問項目		○	×
1	あなたは人の顔色をみて、行動をとるようなくせがありますか。		
2	イヤなことをイヤと言わずに、おさえてしまうことが多いですか。		
3	あなたは劣等感が強いほうですか。		
4	何か頼まれると、すぐやらないで引き延ばすくせがありますか。		
5	いつも無理をして、人からよく思われようと努めていますか。		
6	本当の自分の考えよりも、親や人の言うことに影響されやすいほうですか。		
7	悲しみやゆううつな気持になることがよくありますか。		
8	あなたは遠慮がちで消極的なほうですか。		
9	親のごきげんをとるような面がありますか。		
10	内心では不満だが、表面では満足しているように振舞いますか。		

○を2点、 を1点、×を0点として、それぞれの項目ごとに合計を出し、下のグラフに折れ線グラフを書いてください。

<FC> 質問項目		○	×
1	あなたは、おしゃれが好きなのですか。		
2	皆とさわいんだり、はしゃいだりするのが好きですか。		
3	「わあ」「すげえ」「かっこいい」などの感嘆詞をよく使いますか。		
4	あなたは言いたいことを遠慮なく言うことができますか。		
5	うれしい時や悲しい時に、顔や動作に自由に表すことができますか。		
6	ほしい物は、手に入れないと気がすまないほうですか。		
7	異性の友人に自由に話しかけることができますか。		
8	人に冗談を言ったり、からかったりするのが好きですか。		
9	絵を描いたり、歌をうたったりするのが好きですか。		
10	あなたはイヤなことを、イヤと言いますか。		

	CP	NP	A	FC	AC
20					
18					
16					
14					
12					
10					
8					
6					
4					
2					

結果

下の表「エゴ・グラム 5つの自我状態」が持つ意味を参考にして、あなたの「日常生活スタイル」を考えてみましょう。5つのカテゴリーのどの項目が高いか、低いかで判断します。典型的エゴ・グラムパターンも示しておきます。参考にしてください。

エゴ・グラムの5つの自我状態

P : Parent 親の自我状態	CP : Critical Parent (批判的な親)	良心や理想と深く関係し、生きていくための規則などを教え、厳しい面を示す。高い場合は、他人への支配が強く、責める傾向がある。
	NP : Nurturing Parent (保護的な親)	相手に対して保護的、養育的で、親身になって面倒を見るが、度を過ぎると押しつけがましくなりやすい。
A : Adult 大人の自我状態		合理的、理論的に判断することが可能で知性や理性に深く関わる。あまりにも高い場合は、情緒に乏しいクールな感じにもみられます。
C : Child 子供の自我状態	FC : Free Child (自由な子供)	本能的で創造的な側面です。集団の中で自由な感情表現が可能です。しかし、度がすぎると軽率な行動をとってしまうこともある。
	AC : Adapted Child (順応する子供)	いわゆる「良い子」の部分。一見、対人関係は良好ですが、本当の自分を抑えている傾向があり、自発性にかけることもある。

典型的なエゴグラムのパターン

スタイル	典型的エゴグラム	解説
自己肯定		「私も他の人もすべてOKである」という民主的で建設的な人生観をもって生きている人の場合。典型的エゴグラムは、NPをピークとしてACへ下っていく山型で、PやAの機能が強いのが特徴である。他の人との間に暖かい交流が行われやすく、FCもある程度高いので自分を適切に表現でき、人間関係がうまくいきやすい自我状態と言える。
自己肯定・他者否定		「私はOKだが他人はOKでない」と自分に自信をもっていて、排他的で責任転嫁的な人生観をもって生きている人の場合。典型的なエゴグラムはCPとFCが高く、NPやACが低い逆N型で、他人には批判的だが自分を積極的に生かそうとするCPやFCの機能が表面にでるのが特徴である。ともしれば周囲との間に摩擦が生じやすい。
自己否定・他者肯定		「私はOKではないが他人はOKである」という劣等感・無力感を伴った人生観をもって生きている人の場合。典型的エゴグラムは、NPとACが高く、CPとFCが低いN型で、自分を抑えてでも他の人との関係を良くしようというNPやACの機能が表面にでてくるのが特徴である。内部に矛盾が蓄積されていく場合が多い自我状態といえる。
自己否定		「私も他の人もみなOKでない」という虚無的で非建設的な人生観をもって生きている人の場合。典型的なエゴグラムはNPを底としてACへ上がっていく谷型で、PやAの機能が弱くCの機能が強いのが特徴である。NPが低いため他の人との暖かい交流が持ちにくく、ACが高いため、自分に対して肯定的構えがとりにくい自我状態といえる。

## 学生自治の動向

### 学友会組織について

本学の課外活動は「成城大学学友会会則」という名称の規約に従い、学生の手で自主的に運営されています。学友会の会員は、本学の3学部と短期大学部とに在籍する学生全員（大学院生を除く）で構成され、学生が自主的に行う各種の課外活動を推進し、かつ学生の利益と親睦を図り、学生生活を充実したものにすることを目的として成り立っています。そのための機関として、全学総会、総務会、部会組織（経済学部部会、文芸学部部会、法学部部会および短期大学部部会）連合組織（体育部連合会、文化部連合）、特別機関（厚生部、放送部、新聞会、応援団）などが置かれています。各機関の役割は次のとおりです。

**全学総会** 学友会の最高議決機関

**総務会** 部会組織、連合組織の自主性を尊重しながら全学的立場から日常の会務を行う理事機関。

**部会組織** 学生の自主的な研究活動を推進し、各種の活動を行う組織。

**連合組織** (a)体育部連合会 学生の体育方面の団体を統括し、あわせて自主的な体育活動ならびに各種体育行事を開催することを目的とした組織。

(b)文化部連合 学生の文化方面の団体を統括し、あわせて自主的な文化活動ならびに各種文化行事を開催することを目的とした組織。

**特別機関** (a)厚生部 アルバイト、下宿、貸間幹旋等、学内における厚生事業を行う団体。

(b)放送部 学内放送ならびに放送研究活動を行う団体。

(c)新聞会 学生新聞の発行を行う団体。

(d)応援団 体育、文化部等のクラブの応援活動を行う団体。

学友会会則は、学生の自主的な決定によって定められているものでありますが、大学の教職員はその会則の定める「顧問制度」によって、全てのクラブおよび上部組織のメンバーに直接・間接的に常時助言・援助を行うことになっています。また、大学はこの学友会活動が会則に基づいて正常に運営されていることを条

件として、学友会費の代理徴収を法人へ依頼し、学友会の円滑なる運営の一助としています。

### 学友会総務会について

学友会活動の中心は「総務会」です。総務会は各部会組織と連合組織の総務および副総務のあわせて12名で構成されています。平成16年度の学友会総務会は次のメンバーです。

経済学部部会	総務	二宮 亨 友(経3E)
同	副総務	細野 靖 臣(経3C)
文芸学部部会	総務	竹内 香緒里(文3E)
同	副総務	多田 政 代(文3E)
法学部部会	総務	日暮 和 樹(法3C)
同	副総務	鐵原 明 奈(法3H)
短期大学部部会	総務	小野 早 紀(短2D)
同	副総務	小野口 寛 子(短2D)
文化部連合	総務	向 風見也(文3C)
同	副総務	武内 泰 範(文3B)
		穴井 智 史(文3E)
体育部連合会	委員長	荒本 大 輔(法4D)
同	副委員長	中村 安 希(文4D)
		田中 英 恵(経4G)

総務会の責任者である「総務会議長」は毎年互選されます。平成16年度の総務会議長には経済学部部会総務の二宮亨友君が選出されました。

学友会の問題として、全学的に取り上げられるべき問題については、総務会議長が総務会決議を経て、大学側へ提示することになっており、これをうけて大学側から総務会議長に対して回答を行っています。これは学友会発足以来一貫したルールとして遵守されています。

### 文連・体連リーダーズ・サミットについて

リーダーズ・サミットは、次年度の各クラブの責任者（部長・主将・副部長・会計等）を対象に、各クラブの親睦を深めつつ、リーダーとしての自覚を身につけるために行われているものです。本年度の文連および体連リーダーズ・サミットは下記の日程で行われ、分団討議、全体集会などを通して、学生および教職員との活発な意見交換がなされ、盛況のうちに終了しました。

体育部連合会 体連リーダーズ・サミット

2月7日(土)

於 成城大学3号館各教室および学生ラウンジ

文化部連合 文連リーダーズ・サミット

2月16日(月)

於 成城大学5号館各教室および学生喫茶室

\*\*\*\*\*

めーあ・りひと  
黎 明

## 採らなかつた道と後ろに出来る道

文芸学部 教授 森 田 孟

\*\*\*\*\*

生前四度もピューリッツァー賞を受賞したアメリカの国民詩人として我が国でも広く知られているロバート・フロスト (Robert Frost, 1874-1963) に、「採らなかつた道」“The Road Not Taken”(1915)と題された5行ずつ4連、計20行の名作がある。原詩は紙幅の関係上残念だが割愛して、拙訳で見ていただく。

とある黄色い森で二股の道に出逢った  
残念ながら私は一人の旅人の身、その両方共を通る  
わけには

いかなかった、長らく立ち止まって  
一方に目を凝らした、出来る限り遠くまで  
で  
藪の中へ消えてゆくまで

それからもう一方を採ることにした、同じように美しい道だったので  
それにはそれなりの資格があったのだ  
その道は草深く使われていなかった  
とは言え、その道を通ったことで  
両方の道は同じ程度に使われたことになったのだが

その朝その二本の道は 同じように続いていたのだ  
った

人が黒く踏みじつたりしていない木の葉の中におお、私は最初のを またの日のために取っておいたのだ  
尤も 道が道にどのように通じているかは知っていたので  
いつか私が戻ってくるであろうとは思えなかつたのだが

私は溜息まじりに話していることだろう  
どこかでこれから何年も何年も後に  
とある森の中で道が二股に分かれていてね、それで  
私は  
私は採ったのだよ、人通りの少ない方の道を

それでそのため全てが違ってしまったのさ、と

我々は皆、生まれてから死に到るまで、森(には山あり谷あり、川も湿地も池や沼もある)の中という人生行路を歩み続ける旅人なのであり、生涯には幾度も岐路に出逢ってはその都度どれか一本の道を選び採らなければならない。その際この詩の「私」は、一回分でも人の通らない道を行こうとしたのだった。「溜息まじりに」などとは述べても、実際は決して後悔はしないと言いたいのだ。

と、たちまち、我々の脳裡には、フロストと同世代の我が国の詩人(彫刻家でもある)高村光太郎(1883-1956)の僅か9行から成る絶唱「道程」(1914)が思い浮かぶだろう。

僕の前に道はない  
僕の後ろに道は出来る  
ああ、自然よ  
父よ  
僕を一人立ちにさせた広大な父よ  
僕から目を離さないで守る事をせよ  
常に父の気魄を僕に充たせよ  
この遠い道程のため  
この遠い道程のため

敢えて困難な道を選び苦汁をものともせぬ人生を歩んでくれなどと言うつもりは毛頭ないが、寄らば大樹の蔭とばかり、いつも他人が造った、踏み固められた、安全な道ばかり進もうとするのは情けない。少しでも人通りの少ない草深い道を選んで何らかの発見をしながら、後から来る人のためにその道を確固たるものにしようとする「採らなかつた道」の「私」の選択を、更に出来れば道なき処に新たに道を作り自分の後ろに道が出来る「道程」の「僕」の歩みを、本学の学生諸君には切望したい。

英文学科主任「英語・米文学」担当



めーあ・りひと  
黎 明

## 桜の花のように

経済学部3年E組 二宮亨友



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。学友会を代表して、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、皆さんは大学での新しい生活を前に、さまざまな希望や不安を抱えていることでしょうか。大学というところは

高校までとは違い、与えられたことをこなしていれば良いという場所ではありません。全てを自分の責任において、自分で決定していくのです。何をどうすればいいのか。この問いに対する答えはありません。

自由な校風が特徴とされる成城大学ですが、その「自由」とは、何にでも挑戦できる可能性がある一方で、自分の頭で考えて自分から求めて行かなければ、何も得られないことを意味します。だからこそ、自分に対して問い続け、課題を与え続けてほしいと思います。

これを難しく考える必要はありません。身構えるのではなく、興味を持ったこと、やってみたかったことにまず挑戦してみることです。思い切って飛び込んでみることで、それが本当に自分の求めていたことかどうか、本当に自分に不可能なことなのかどうかどうかが掴めると思います。そしてそれを繰り返していく過程で、早いうちに自分が熟中できる「何か」を見つけてほしいと思います。決して焦らなくても大丈夫ですが、その「何か」は確実にあなたの大学生活を有意義なものにしてくれるでしょう。

また私もそうでしたが、成城大学が第一志望ではなかったけれども、結果的に成城大学に来ることになったという人は皆さんの中にも少なくないと思います。そういう人は特に騙されたと思って、まずこの大学を積極的に知ろうとしてみてください。大学を批判したり、拒否したりすることは簡単ですが、きちんとこの大学の良さを発見しようとしなければ、自分の目の前に広がっている可能性にも気付くことはできません。成城大学は非常に懐の深い大学だと思います。この意味を自分なりに探してみてください。

大学の4年間というのは非常に特別な期間であります。24時間自分で行動を決定できるというのは今後ないかもしれませんし、失敗がまだ許されるということにおいても貴重な期間です。集まっている仲間は全くことなつた思考や価値観、バックグラウンドを持っています。この4年間でたくさんのことに挑戦し、たくさんの人から刺激を受け、成城大学での4年間に誇りを持って卒業してってください。

最後に、満開の桜が成城の街を染める季節になりましたが、その桜にとって冬の厳しい寒さはとても重要なのだそうです。厳しい寒さを経験した桜ほど、春になると美しい花を付けるといいます。人間も同じだと思います。頑張った分だけ、苦しんだ分だけ、春が来た時に美しく咲けるのだと思います。あっという間の4年間。自ら厳しい選択肢を選び取って、充実した大学生活を送ってください。

今年度総務会議長（経済学部部会総務）

## 平成16年度 学事・行事暦

4月5日(月) 入学式 学部・大学院 午前10時  
短期大学部 午後2時  
於 五十周年記念講堂

6日(火) 文芸1年 A・B・D 組フレッシュ  
ユマン・キャンプ(1泊2日)

7日(水) 文芸1年 C・E・F 組フレッシュ  
ユマン・キャンプ(1泊2日)

8日(木) 短大1年 A~D組 フレッシュユ  
マン・キャンプ(1泊2日)

12日(月) 平成16年度開講

14日(水) 文・体連オリエンテーション  
午後4時30分 於 五十周年記念講堂

17日(土) } 履修科目登録期間  
22日(木) }

5月5日(水) 創立記念日

## 新入生の皆さんへ

### 新しい生活へ向けて

文芸学部3年C組 向 風見也



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この文章を読んでいる皆さんは、これからの生活にさまざまな思いを抱いていると思います。

大学生活は、たとえば「何を勉強するか」といったことまで自分で決めなくてはいけない、文字通り自由なものです。どんな思いを抱いているにせよ、与えられた自由な時間をいかに有意義なものにするかを考えて生活すると、楽しくなると思います。また、有意義な生活を送るには、新しいことを始めたり、新しい仲間をつくらうとすることが大事だと思います。

プロ野球の世界でも、阪神の星野前監督が広島の本塁打選手を獲得する際の口説き文句として、「迷った時は新しい方へ踏み出せ」と言っています。その後、金本選手は阪神へ移籍し、18年振りの優勝の立役者になりました。バイトでも資格取得でも、趣味に没頭するでも、新しい生活を自分で創りさえすれば、「志望校に受からなかった」みたいな後ろ向きな想いは、案外どうでもよくなるものです。

大学での新しいことの一つとして部活動があります。文化・体育系を合わせて約70団体あるなかで、自分に合った部を選び、新しい先輩・仲間たちとひとつのことに打ち込む時間は、私自身の経験上から考えても、楽しく有意義なものと言うことができます。何をしたらよいか考えている方は是非。

では、有意義な学生生活を創って下さい。  
今年度文化部連合総務

### 大学生活をより充実したものに

法学部4年D組 荒本 大輔



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは、これから始まる大学生活に期待されていることと思います。

大学という場所は自由です。もちろん、授業や勉強は大切です。しかし、それ以上に自分のやりたことに思う存分に取り組める、それが大学という場所ではないでしょうか。好きな勉強、部活動、サークル等いろいろあると思います。ですから、是非、大学四年間をより充実したものにするために、自分の情熱を注げるようなものを見つけて欲しいと思います。

私は、体育会の部活である剣道部に入部しています。部活に入った理由としては剣道を経験していたこともありませんが、やはり、大学生活をより充実したものにしたいと思ったことと、四年間にやったことを形に残したいと思ったからです。確かに、練習は大変です。しかし、それ以上に部活動生活を通じ、自分自身成長することが出来、ここでは言い切れないくらい得るものが非常に多いと感じています。

また、大学生活は、新しいことに挑戦する絶好の機会でもあると思います。今まで出来なかったこと、興味のあるものにどんどんチャレンジして欲しいと思います。

新入生の皆様の大学生活がより素晴らしいものになるように祈っております。

今年度体育部連合会委員長

## くらぶ通信 - スポットライト -

## 第10回

## 洋弓部

主務 野口 菜美(文4F)



こんにちは、洋弓部です。現在部員は男女合わせて17名、各自がチーム戦・個人戦共に上位を目指して、練習に励んでいます。

さて、皆さんはアーチェリーがどのようなスポーツなのか、知っていますか？簡単に言ってしまうと、矢を弓で飛ばして的を射る、といった感じですが、自分の体格や力に合った弓具を選び調節し、さらに天候や自分のコンディションに合わせて微調整したり、とても繊細です。また、基礎を覚えてしまえば、努力次第で先輩後輩関係なく活躍できる大胆なスポーツでもあり、その魅力はとても奥が深いです。

1年間の主力活動は、春と夏2回の合宿、学連主催の個人戦、新人戦、リーグ戦、さらに四大戦や甲南大学との定期戦、他大との練習試合や個人参加の試合等、積極的に行い、活発に活動しています。

最近では特に女子に勢いがあり、四大戦では昨年度から2年連続優勝、リーグ戦では昨年度に1部昇格、1部ブロック優勝、個人・チーム共にインカレに出場する等、良い成績を残す事ができました。今年度も納得できる結果が残せるよう、現状に満足せずに努力し続けています。

私達の目標は、もちろん勝つ事ですが、アーチェリーを楽しむことも、とても重要だと思っています。そこで、さらなる飛躍を目指し、私達と一緒に楽しく活動し、チームを盛り上げてくれる部員を、男女共に募集しています。少しでも興味のある方、2号館屋上の射場へ是非遊びに来て下さい。部員一同、心よりお待ちしております。

## ギター部

部長 増山 さやか(文3B)



こんにちは、ギター部です。私達は、約50人程度で活動をしています。

今までの活動場所は外のスタジオだったのですが、今年から、学内でバンドの練習ができるようになりました。なので、今年の1年生はラッキーです！どんどん活用してください。合宿は年に2回あります。例年、夏合宿は主に、バンド練習にはげみますが、春合宿は、みんなで旅行をする傾向が強くなってきました。

年間の行事としては、春に、オリエンテーションと新歓ライブと6月祭で、秋には学祭をやり、冬には12月祭と外ライブをやります。

去年は六月祭にかわり、軽音楽部とアメリカ民謡と合同でライブをやりました。今年もできれば、大きなイベントをやりたいと思っています。

私達の部活は、『自由に楽しく』をモットーにしています。なので、初心者の方でも気軽に入部してきてほしいと思います。

皆さんが学生生活をギター部で『自由に楽しく』すごせたらいいなと、思っております。

私達の部員の中には、大学から始めた人もいれば、ずっと前からやっている経験者もいたり、多種多様です。曲のジャンルもみんな固定してなく、様々なジャンルをやっています。なので、本当に自分のやりたいことが出来る部活だと思います。文連クラブハウスの3階の奥左に部室がありますので、気軽にあそびにきてください。

## 学内ニュース

### 学内人事異動

学 長 我妻 建治 (再任)  
 短期大学部学長 我妻 建治 (再任)  
 経済学研究科長 油井 雄二 (新任)「財政学」  
 法学研究科長 佐藤 文夫 (再任)「国際法」  
 文芸学部長 戸部 順一 (新任)「ラテン語、西洋古典学」  
 学生部長 上野 英二 (新任)「中古国文学」  
 民俗学研究所長 松崎 憲三 (再任)「民俗学」

### 新任教員

文芸学部 相澤 正彦 教授「日本美術史」  
 鶴見 良次 教授「英語、イギリス文化」  
 (短期大学部より配置替え)

### 平成16年度研修教員(前期より研修の教員を掲載)

#### 経済学部

田中 誠一 教授 平成16年3月～平成17年3月  
 オーストリア「ヨーロッパ諸国の生涯スポーツについての研究」

#### 文芸学部

上杉 富之 教授 平成16年4月～平成17年3月  
 アメリカ合衆国、国内「新生殖技術」と「トランスナショナルリズム」をめぐる諸問題の実態と理論に関する文化人類学的研究」

木畑 和子 教授 平成16年4月～平成17年3月  
 ドイツ「ドイツ第三帝国史研究」

F. コーザ 専任講師 平成16年4月～平成17年4月  
 イギリス「Study of English Literature」

#### 短期大学部

田中 陽子 教授 平成16年4月～平成17年3月  
 ドイツ、国内「ドイツにおけるリハビリテーションスポーツの指導法及び実態調査」

### 第25回 学長賞懸賞論文の募集について

本学学生の学習・研究を奨励することを目的として、毎年、学長賞懸賞論文の募集を行っています。審査の結果優秀作品と認められた論文には、最優秀賞、優秀賞、奨励賞をそれぞれ贈り、入賞者には賞状および副賞(最優秀賞15万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円)が授与されます。

本年度の論文提出期間は、9月25日～10月2日を予定していますが、応募要領(論題、応募規定等)については、5月下旬にあらためて大学掲示板およびホームページに発表します。

### 「在籍確認シール」の交付について

2003年度より、「通学定期乗車券・学割証発行控」がシール形式となり、名称も「在籍確認シール」となっています。次の注意事項をよく読み、学生証と一緒に携帯してください。

学生証表面に記載の学籍番号・氏名を確認の上、在籍確認シールに学籍番号・氏名・現住所・通学区間を記入すること。(記入がないと定期券は購入できません)  
 住所に変更がある場合は、学生部にて「住所変更届」に必要な事項を記入のうえ提出し、新しい在籍確認シールを受け取ること。  
 通学定期券発行控欄に余白が無くなった場合及び、紛失・汚損した場合は、学生部にて新しい在籍確認シールを受け取ること。  
 但し、以下の注意をよく読み、3年生以上はシールを貼付せずに携帯するようにしてください。

#### 2002年度までに発行された学生証の場合(3年生以上)

裏面にバーコード(図書貸し出し用)がありますので、シールは貼付せずに学生証と一緒に携帯すること。

2003年度以降発行の学生証(再発行を含む)の場合  
 在籍確認シールに記載されている有効期限が、学生証の有効期限となるため、必ず学生証裏面に貼付すること。シールが貼付されていないと無効となります。

#### 「在籍確認シール」の交付は、次のとおり行います。

対象 新入生以外の在生学生  
 日程 4月6日(火)～10日(土)  
 時間 9:00～16:00(10日(土)は13時まで)  
 場所 712・713教室(履修の手引・シラバス等と同時に配付)  
 上記日程以外は、学生部窓口で交付いたします。

### 文・体連オリエンテーションのお知らせ

新入生への課外活動案内!  
 文化部連合31団体・体育部連合会35団体・特別機関4団体が新入生諸君を待っています。  
 日時 平成16年4月14日(水)午後4時30分より  
 場所 五十周年記念講堂

## 編・集・後・記

本年も新学期を迎え、新入生の皆さんが全国各地から成城大学に集ってきた。本学はセンター試験利用方式を導入した3年前の入試より、志願者数を伸ばしてきており、合格した皆さんは厳しい競争を乗り越えてめでたく本学の一員となられたわけである。受験を経て入学された方も、成城学園からの進学者や指定校推薦で入学された方も、入学式に臨む気持ちは一緒だろう。未知の世界へ踏み入れる不安よりも、期待や希望に満ちあふれているであろう今のその気持ちを大切に、4年間或いは2年間、充実した学生生活を送られるよう、我々教職員も精一杯お手伝いさせていただきたい。

この1年間学生部長をお務めになった戸部先生が文芸学部長に就任され、部長が同学部の上野英二教授に替わった。我々学生部も気持ちも新たにするとともに、戸部先生のますますのご活躍をお祈りしたい。(T記)

編集・発行 成城大学 学生部  
 編集責任者 上野  
 編集 中村・高田・栗本・井上  
<http://www.seijo.ac.jp>